

1 取組の概要

・遠隔診療の種類

オンライン診療

・対象診療科

内科

・実施体制

医師 3 名，看護師 10 名

・参加医療機関数

2 施設（与路へき地診療所，池地診療所）

・診療件数

令和 3 年度 41 件（与路へき地診療所 23 件，池地診療所 18 件）

・使用機器等

iPad（5 台），スマートフォン（4 台） 591,420 円

（支援策）

令和 2 年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

iPad（1 台），スマートフォン（3 台） 293,580 円

2 導入の背景，目的

- ・離島（無医地区）への巡回診療が行えない時等（夜間・緊急時等）の対応をしてもらえないかという要望があった。
- ・コロナ禍での行動制限もあった時期，医療資源の少ない離島へ感染を持ち込まないようにする対策の一環。

3 導入時の課題，対応策

- ・院内の準備は補助金等活用し（院内 Wi-Fi，HD 等）準備できたが，離島のインフラ，安定しない 3G～4G 程のモバイル通信のため，リアルタイムに行うには困難な場合（画面が固まる等）もある。そのため医師と患者・看護師による iPad 等による情報（画像）確認後の電話相談・診療等になっている。
- ・離島でのオンライン診療は，高齢者がメインになるので端末を持たない，又は操作に不慣れなため難しいと思われる。

4 効果

- ・仕事を持つ平日に休みをとれない患者から，次回も電話・オンライン等にてできないか問い合わせがある。
- ・コロナ禍での感染拡大時，患者数増加にて対応困難な時期に，電話・オンライン診療へ切り替えでき，又スタッフの仕事量の軽減にもつながる。
- ・軽症の COVID-19，インフルエンザ等感染の診断，自宅療養中の診察には電話・オンライン診療での希望が多い。

5 今後の課題

- ・コロナ禍で初診からオンライン診療可能になるなど緩和されたが、いまだ離島での診療はスタッフへの教育や、インフラ整備などに課題がある。マイナ保険証のように、国がオンライン診療を推進していく必要があると思う。
- ・今後に備え、できる地区の患者様からオンライン診療を始め、スタッフの教育を行って行く必要があると思う。